

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 9月28日（金）

2 確認箇所

ガレキ一時保管エリアN

3 確認項目

ガレキ一時保管エリアNの汚染拡大防止対策工事の進捗状況

4 確認結果の概要

当該エリアは、H4北エリアから回収された汚染土壌を保管しているが、平成29年9月に原子力規制委員会の保安検査において、許可を受けていない状態で汚染土が仮置きされていること及び同エリアに不適切な仮置き（金属容器に入れることなく仮置き）が行われていることが確認された。

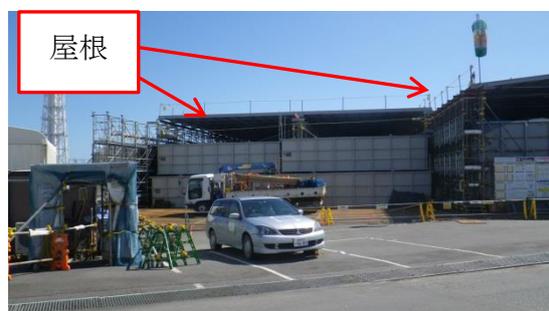
その対策として、当該エリアを仮設集積場所として設定し、汚染土壌を金属製容器で収納し保管しており、さらに汚染拡大防止対策として、屋根や堰の設置工事が進められている。今回、前回（平成30年5月22日）に引き続き、当該工事の進捗を確認した。

- ・前回確認時と比較すると、金属製容器の保管数が増加しており、エリア西側における屋根の設置工事が進捗していた。（写真1）
- ・また、堰の設置工事も進捗しており、鉄板上に設置された堰は、堰の隙間から流出しないよう溶接及びコーキング処理されていた。（写真2）
- ・目視した限り、汚染土壌が飛散・流出等している様子は認められなかった。



（写真1－1）

前回撮影（平成30年5月22日）



（写真1－2）

今回撮影（平成30年9月28日）



(写真 2 - 1)



(写真 2 - 2)

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。